

## 令和6年度 木屋保育所 自己評価

評価 → ◎・・・よくできている ○・・・ほぼできている △・・・努力が必要

項目	内容	評価
園運営	職員の業務分担を明確にしている。	○
	職員相互がそれぞれの立場を理解し、園運営にかかわっている。	○
	豊かな集団の育成を目指し、各クラスの連携が円滑に行われている。	○
	職員間で常に報告・連絡・相談の体制が機能している。	○
保育の理念 目標	保育理念・保育目標を職員、保護者に周知するために掲示している。	○
	保育理念・保育目標を全職員が共通理解をしている。	○
	すべての園児において、最善の利益と一人ひとりの人権を尊重している。	○
保育の 内容	保育指針に基づき、乳幼児の実態に即した指導計画を作成している。	○
	保育の計画、評価、反省を常に行い、よりよい保育を目指している。	○
	保育士は、自らの保育実践を自己評価し、専門性の向上や改善に努めている。	○
	子どもの気持ちを理解し、信頼関係を築いている。	○
	同年齢及び異年齢児間の効果的な保育活動の充実を図っている。	◎
	行事の種類や実施回数は適切に行われている。	○
安全・環 境	園内外の安全点検を定期的に行っている。	○
	緊急時のために、関係機関等の連絡先が明示されている。	◎
	消防計画を作成し、毎月、避難訓練を行い、非常時に避難誘導できる体制をつくっている。地震や不審者侵入時の危機管理にも努めている。	◎
	安全で心地よく過ごせるよう、採光や換気、温度、湿度に配慮している。	◎
健康 管理	健康診断を年2回実施し、結果を保護者に伝えている。	◎
	感染症等の予防対策やマニュアルが整備されている。	○
	衛生面に配慮している。	○
給食	食育計画に基づき、楽しく食事ができる環境にしている。	○
	旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている。	◎
	食物アレルギーのある園児には適切な対応をしている。	○
保護者 対応	保護者への対応は丁寧に行い、不安や不信感を感じさせないように努めている。	○
	苦情解決の仕組みを掲示し、適切に対処している。	○
	個別懇談等で保護者との連携を図り、園児を理解するよう努めている。	○
守秘 義務	園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している。	○
	園児の個人記録は、個人情報保護法に基づき管理保管している。	○
地域 との 関わり	地域の行事に参加したり協力したりしている。	△
	高齢者や小学校との交流をしている。	△

### ※評価・よりよい保育を行っていくための改善策

- ・高齢者施設との交流ができなかったが、二か所で芋ほり体験をさせてもらう等一部の地域の方との交流はできた。
- ・感染症予防や事故防止・各避難訓練等については、日常的に園児の指導や対応等、職員の努力が見られた。
- ・行事は、園児減少に伴い、少人数の良さを活かせる事に重点を置いた。内容を工夫したり、保護者や地域の協力もあり、少人数でも十分楽しい行事を行う事ができた。今後も職員間で協議や連携を行いながら、問題点の改善に取り組んでいきたい。